

平成 17 年 3 月 24 日  
株式会社名古屋銀行

## 中国人民元建て融資について

名古屋銀行（頭取加藤千磨）では、株式会社竹代（本社：岡崎市針崎 1 丁目 1 番 16 号代表取締役社長酒井達三氏）との間で人民元建て融資契約を締結しました。これに基づき中国銀行北京市開発区支店は「北京華竹科技有限公司」（株式会社竹代の 90% 出資の子会社）に融資を行うことになりましたのでお知らせします。

今回の人民元建て融資の実行は、「名古屋銀行と中国銀行（本店：中華人民共和国北京市）との人民元建て融資に関する業務提携」に基づくもので、このスキームによる融資は当行では 3 社目となります。

### 記

#### 1. 融資内容

- ・融資金額 極度 78 万元（日本円約 10 百万円）
- ・融資期間 1 年
- ・融資予定日 平成 17 年 3 月 25 日（金）

#### 2. 成約経緯

平成 16 年 12 月、当社は北京市大興工業開発区に工作機械用電気制御装置の組立子会社「北京華竹科技有限公司」を設立。今般、納入先より受注が増加して、運転資金が必要となりました。人民元資金の調達手段として当行が保証して、中国銀行北京市開発区支店から人民元融資を受ける方法を提案、成約に至りました。

#### 3. 中国人民元融資の新規定（平成 17 年 4 月 1 日施行）

中国国家外貨管理局は、平成 17 年 1 月 26 日に「2005 年国内外資銀行短期外債指標の設定に関する通知」を公布しました。その内容には国外機関による外貨建の保証が付された人民元借入金について、今後は外債と同様に外貨管理局への登記が必要になること、更に「総投資額 - 登録資本金 - 既存外債」を超過する額については登記できないこと、を内容とする条文が含まれております。

ジェットロ上海「外貨指定銀行の外貨担保問題に関する通知への対応について」（平成 17 年 3 月 10 日）によると、進出企業は借入限度超過を回避するため、追加出資を行うことにより新たに総投資額の拡大を図る対応も可能ですが、急遽、増資を余儀なくされるため、大きな負担を強いられることにもなりかねないと指摘しています。

以 上